

福生市議会だより

FUSSA

No.184

発行 福生市議会
平成24年7月25日

〒197-8501 福生市本町5番地
☎042 (551) 1511 (代表)
☎042 (551) 1523 (ダイヤルイン)

平成24年 第2回定例会



水遊び大好き!!
(すみれ保育園)

平成24年第2回定例会は、6月5日から22日の18日間開催され、18人の議員から一般質問が行われ、市長提出議案11件、委員会提出議案1件、陳情3件などが審議されました。

本会議の経過

▼1日目(5日)は、一般質問の通告人数や通告時間、議案を付託する委員会の開催日等を考慮して、定例会の会期を18日間と決定しました。

続いて、加藤市長の2期目の就任にあたっての発言があり、その後、6人の議員が一般質問を行いました。

▼3日目(7日)は、5人の議員が一般質問を行いました。

▼4日目(8日)は、2人の議員が一般質問を行い、18人の議員の一般質問が終了しました。

続いて、市長から提出された議案の提案理由の説明後、3件の議案について即決し、その他の議案7件及び陳情1件が所管の委員会に付託されました。

▼5日目(22日)は、最終日で、委員会へ付託された議案7件を可決・同意し、新たに委員会提出議案1件(意見書提出)及び市長提出議案1件を慎重審議の上、即決で可決しました。継続審査となっていた陳情3件は委員会において結論が出され、委員長より報告の後、採決の結果、3件とも不採択となりました。

また、新たに提出された陳情1件については、継続し慎重に審査していくことを決定し、今定例会を終了しました。

基地対策予算の増額等を 求める意見書を提出

委員会提出議案第4号 基地対策予算の増額等を求める意見書

基地施設周辺の市町村は、基地所在に伴う諸問題の解決に向けて鋭意努力しているところである。

しかし、基地関係市町村は、世界的な経済危機に伴う大幅な税収減や、基地所在に伴う特殊な財政需要の増大等により大変厳しい財政状況にある。

こうした基地関係市町村に対しては、これまで総務省所管の固定資産税の代替的性格を基本とした基地交付金(国有提供施設等所在市町村助成交付金)及び米軍資産や住民税の非課税措置等の税財政上の影響を考慮した調整交付金(施設等所在市町村調整交付金)が交付されている。

基地交付金・調整交付金については、基地所在による特別の財政需要等にかんがみ、固定資産税の評価替えの翌年度において、平成元年度より3年ごとに増額されてきており、あわせて、防衛省所管の特定防衛施設周辺整備調整交付金も増額されてきた経緯がある。

また、米軍等の行為又は防衛施設の設置・運用により生ずる障害の防止・軽減のため

国の責任において基地周辺対策事業が実施されている。

よって、国におかれては、基地関係市町村の実情に配慮して次の事項を実現されるよう強く要望する。

1 基地交付金及び調整交付金については、今年度は固定資産税の評価替えの年度にあたるため、これまで3年ごとに増額されている経緯を十分踏まえ、平成25年度予算において増額するとともに、基地交付金の対象資産を拡大すること。

2 基地周辺対策経費の所要額を確保するとともに、各事業の補助対象施設及び範囲の拡大等の適用基準のさらなる緩和を図ること。また、特定防衛施設周辺整備調整交付金については、これまでの経緯を踏まえ平成25年度予算において増額すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

(提出先 内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、防衛大臣、衆議院議長、参議院議長)

また、米軍等の行為又は防衛施設の設置・運用により生ずる障害の防止・軽減のため

国の責任において基地周辺対策事業が実施されている。

よって、国におかれては、基地関係市町村の実情に配慮して次の事項を実現されるよう強く要望する。

1 基地交付金及び調整交付金については、今年度は固定資産税の評価替えの年度にあたるため、これまで3年ごとに増額されている経緯を十分踏まえ、平成25年度予算において増額するとともに、基地交付金の対象資産を拡大すること。

主な内容

可決された案件	2面
一般質問	3~6面
委員会の審査	7面
特別委員会活動	8面

可決された案件 (要旨)

○全員賛成 ▼賛成多数

▽専決処分の承認を求め
ることについて〔福生
市税賦課徴収条例の一
部を改正する条例〕

地方税法の一部改正
に伴い、附則を改正
し、地価の変動に対す
る固定資産税の特例措
置のうち、住宅用地等
の据え置き特例を廃止
することが必要とな
り、議会に諮る時間が
なく市長が専決処分し
たもの。

◎専決処分の承認を求め
ることについて〔福生
市都市計画税条例の一
部を改正する条例〕

地方税法の一部改正
に伴い、附則を改正
し、地価の変動に対す
る都市計画税の特例措
置のうち、住宅用地等
の据え置き特例を廃止
することが必要とな
り、議会に諮る時間が
なく市長が専決処分し
たもの。

◎専決処分の承認を求め
ることについて〔平成
24年度福生市国民健康
保険特別会計補正予算
(第1号)〕

平成23年度福生市国民健康保険特別会計の決算を迎えるに当たり、歳入歳出差引不足額が見込まれ、地方自治法施行令に基づき、平成24年度国民健康保険特別会計予算を繰り上げる補正が必要となり、議会に諮る時間がなく市長が専決処分した。この平成24年度補正予算は、歳入歳出予算総額に1588万9千円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ67億427万6千円と定めたもの。

◎福生市国民健康保険税
条例の一部を改正する
条例

地方税法の一部改正に伴い、東日本大震災により減失した家屋の敷地に係る買換え等の国民健康保険税の譲渡所得課税の特例期間延長の特例など必要な規定を整備するもの。

◎福生市印鑑条例の一部
を改正する条例

外国人登録法の廃止に伴い外国人住民が住民基本台帳法の適用対象となることから、外国人登録法に関する規定を削除し、必要な規定を整備するもの。

◎福生市税賦課徴収条例
の一部を改正する条例

地方税法の一部改正に伴い、東日本大震災により減失した家屋の敷地に係る買換え等の譲渡所得の課税について、譲渡期限延長の特例等、条例の一部を改正するもの。

◎福生市手数料条例の一
部を改正する条例

外国人登録法の廃止に伴い外国人登録に関する証明が廃止されるため、条例の一部を改正するもの。

◎福生市敬老金条例の一
部を改正する条例

外国人登録法の廃止

に伴い外国人住民が住民基本台帳法の適用対象となることから、敬老金贈呈資格の規定中、外国人登録法に関する事項を削除するもの。

◎福生市国民健康保険税
条例の一部を改正する
条例

地方税法の一部改正に伴い、東日本大震災により減失した家屋の敷地に係る買換え等の国民健康保険税の譲渡所得課税の特例期間延長の特例など必要な規定を整備するもの。

◎平成24年度福生市一般
会計補正予算(第1
号)

歳入では、都支出金の緊急雇用創出事業臨時特例補助金、学校と家庭の連携推進事業委託金、食育研究事業委託金などの追加に伴うもの。

◎福生市表彰条例に基づ
く自治功労表彰につい
て

多年にわたり農業委員
会委員として市の発展に貢献された野崎博
氏、村野徳平氏に対し
自治功労表彰するもの。

◎福生市表彰条例に基づ
く一般表彰について

多年にわたり市の行政に貢献された方々
で、都市計画審議会委員の岩河信文氏、介護認定審査会委員の河内泰彦氏、学校歯科医の島田實氏、片岡憲英氏、吉野英文氏、交通安全推進委員会委員の



▲桜まつりでも人気のキャラクター「たっけー☆」

◎福生市副市長の選任に
ついて

坂本昭副市長の任期満了に伴い、新たに村山利夫氏を福生市副市長に選任することに同意するもの。

◎福生市表彰条例に基づ
く自治功労表彰につい
て

多年にわたり農業委員
会委員として市の発展に貢献された野崎博
氏、村野徳平氏に対し
自治功労表彰するもの。

◎福生市表彰条例に基づ
く一般表彰について

多年にわたり市の行政に貢献された方々
で、都市計画審議会委員の岩河信文氏、介護認定審査会委員の河内泰彦氏、学校歯科医の島田實氏、片岡憲英氏、吉野英文氏、交通安全推進委員会委員の



◎福生市副市長の選任に
ついて

坂本昭副市長の任期満了に伴い、新たに村山利夫氏を福生市副市長に選任することに同意するもの。

◎福生市表彰条例に基づ
く自治功労表彰につい
て

多年にわたり農業委員
会委員として市の発展に貢献された野崎博
氏、村野徳平氏に対し
自治功労表彰するもの。

◎福生市表彰条例に基づ
く一般表彰について

多年にわたり市の行政に貢献された方々
で、都市計画審議会委員の岩河信文氏、介護認定審査会委員の河内泰彦氏、学校歯科医の島田實氏、片岡憲英氏、吉野英文氏、交通安全推進委員会委員の

陳情

今定例会の各委員会
で審査された結果、不採択
となった陳情は次のとおり
です。

◆不採択

○30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の採択要請に関する陳情書(第23-14号)

(不採択理由)
少人数学級が、必ずしも教育環境の向上、生徒と教員の師弟関係、信頼関係の構築には結びつかず、意に沿いがたい。

○子ども・子育て新システムの導入に反対し、現行保育制度の拡充を求める意見書提出を求める陳情書(第23-16号)

(不採択理由)
現行保育制度の拡充に
対し、あいまいな点が多
いため、意に沿いがたい。

○国民健康保険に関する陳情書(第23-18号)

(不採択理由)
当市の現状をかんがみ、
今以上の保険税引き下げ
は難しいため、意に沿い
がたい。

討論

●専決処分の承認を求め
ることについて〔福生市
税賦課徴収条例の一部を
改正する条例〕

地価下落の少ない住宅
用地が増税となる地方税
法の矛盾が残る。個人の
居住や零細事業用の土地
と金融機関等の保有する
土地は取引価格で同一に
評価せず、使用目的に応
じた収益還元方式で決定
すべきであり、反対する。

●30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の採択要請に関する陳情書

賛成
30人以下学級はOEC
Dの中で標準となっており、
学力向上対策と不登
校対策にも有効である。
また、義務教育費の国庫
負担割合の拡充は自主財
源の少ない福生市として
も賛成するものであるの
で、本陳情を採択したい。

●国民健康保険に関する陳情書

賛成
福生市では、200万
円以下の所得層は国保加
入者の8割を超えており、
国庫負担の増額と国保税
の引き下げが必要である。
また、東京都に対しても、
住民福祉の守り手として
市町村国保への支援を強
めるよう要求していくべ
きであり、本陳情に賛成
する。

「議会日誌」

18日	17日	7日	26日	25日	20日	16日	13日	▼4月	23日	13日
財政援助団体等監査	定期監査 奈良県天理市視察来市	正副会長・監事・相談役会議 (8日まで)	例月出納検査	期総会	福生市議会議員視察来市 福生市議会議員視察来市	関東部会正副会長・監事・相談役会議	臨時総会 全国市議会議長会基地協議会	東京都市議会議長会理事会 臨時総会	全国市議会議長会定期総会	市民厚生委員会
12日	8日	7日	6日	5日	4日	31日	30日	29日	28日	15日
建設環境委員会 議会運営委員会 第3次議会改革検討協議会	建設環境委員会 議会運営委員会 第2回定例会4日	議会運営委員会 第2回定例会3日	議会運営委員会 第2回定例会2日	議会運営委員会 第2回定例会1日	例月出納検査	東京都市議会議長会 役員会・通常総会	三多摩上下水及び道路建設促進協議会理事会、総会	三多摩上下水及び道路建設促進協議会	東京都市議会議長会定期総会	総務文教委員会
28日	27日	26日	23日	22日	19日	18日	15日	14日	13日	12日
議員研修会	監査	八高線複線化促進協議会決算 北海道美幌町視察来市 例月出納検査	町田市新庁舎落成記念式典 例月出納検査	議会運営委員会 全員協議会	議会運営委員会 全員協議会	第3次議会改革検討協議会 第2回定例会5日	第3次議会改革検討協議会 第2回定例会5日	第3次議会改革検討協議会 第2回定例会5日	第3次議会改革検討協議会 第2回定例会5日	第3次議会改革検討協議会 第2回定例会5日

第5期介護保険事業計画の内容は

柳川 英司 議員

質問 福生市の高齢化率が20%を超え、今後も高齢者人口の増加が予想されるが、第5期介護保険事業計画の内容及び福生市独自の施策について伺いたい。

市長 福生市は西多摩3市と比較して後期高齢者や要介護2以上の介護認定者の割合が高く、1人当たりのサービス給付費も高くなっている。過不足なく介護サービスを利用いただくために、介護保険法による標準給付をもとに計画を策定している。

また、地域支援事業で介護サポーターポイント制度を導入し、元気な高齢者の人口増を目指していく。



▲福生市介護保険事業計画(第5期)

一般質問 (要旨)

市政のここが聞きたい

今定例会では、18人の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。質問方式は3種類の選択制で、一括方式、一問一答方式、併用方式(一括と一問一答の併用)のいずれかを議員が選択し、質問しました。

概略の掲載は一問とし、3ページから5ページに掲載しました。一般質問の項目は6ページにすべて掲載してあります。

詳しくは、8月中旬発行予定の会議録を市役所情報コーナー及び図書館でご覧いただくか、福生市ホームページからご覧いただけます。

東京都防災会議が公表した報告書の内容は

乙津 豊彦 議員

質問 東京都は4月18日、これまでの被害想定を全面的に見直した「首都直下地震等による東京の被害想定」という報告書を公表したが、その内容について伺いたい。

市長 この報告書では、震度や死者数など、従来の想定を大きく上回る被害想定がなされており、福生市も、特に新たに加わった立川断層帯地震では甚大な損害をこうむるとされている。大地震はいつ起こってもおかしくない状況であり、福生市と

しては、地域防災計画の見直しと並行し、被害を最小限に抑える対策を講じていく。



▲首都直下地震等による東京の被害想定報告書

7つの目標について

串田 金八 議員

質問 加藤市長が2期目の市政運営に取り組むに当たって掲げた「7つの目標」について伺いたい。

市長 わがまち福生が将来に向かって発展を続け、市民にとって住みよいまちであり続けるようにという思いを込め、「希望に満ちた明るいひとづくり」「だれにもやさしい安全なまちづくり」「潤いのある豊かな暮らしづくり」「安心に満ちたまちづくり」「活力とにぎわいのあるまちづくり」「ともに助け合うま

ちづくり」「市民と行政がともに進めるまちづくり」という7つの目標を掲げた。



▲市庁舎

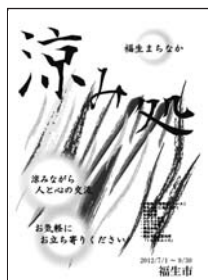
夏の省エネルギー対策と電力の状況は

田村 正秋 議員

質問 政府は、7月1日から始まる夏の電力需給対策を正式決定したが、夏の省エネルギー対策と電力の状況について、市としてどのように取り組むのか。

市長 東京電力管内では、照度の見直しとエアコンの設定温度を1度上昇させるといった対応により、ことしの夏は乗り切れる見通しとなっている。市では、家庭での節電への取り組みや、より一層のごみの分別収集への協力をお願いを行なうほか、

昨年に引き続き、7月1日から9月30日まで、市内10カ所の公共施設で「涼み処」を実施する。



▲福生まちなか涼み処案内ポスター

福生市内の地盤、地歴は

町田 成司 議員

質問 福生市は地盤がよく、安心安全な地域と思うが、学術的に裏づけ等はあるか。また、過去に水田や田んぼが存在していた等の地歴があれば聞かせていただきたい。

市長 福生市の地盤は、強固な礫層である加住礫層を基盤とした良好な地盤がほとんどを占めており、多摩川沿いの低地においても軟弱層が薄いことから、多摩川下流域に比べて地震動の増幅も小さく、液状化の心配はないと考える。また、多摩河

原土地区画整理事業により、水田地帯であった低地の北田園、南田園地区においても心配ないと考える。



▲昭和35年頃の南田園付近

市のイベントで被災地の物販等の協力ができないか

大野 聡 議員

質問 原発の被害を受けた各県では、汚染がなく安全な地域の産物でも、風評被害により出荷が滞っているが、八王子市や東村山市が昨年行ったように、当市でもこれから開催する七夕まつりや産業祭等のイベントの場で果物や農産物等の販売に協力できないか。

市長 風評被害については、一刻も早く安全宣言をするなど、国が責任を持って対応していただきたいと考えているが、福生市としても、イ

ベントにおける被災地物販の販売ブースの提供など、協力していきたい。



▲昨年の七夕まつり(東北の産物を販売する模擬店)

市内のスクールゾーンについて、決定・廃止の経緯は

岩崎 百合子 議員

質問 福生市のスクールゾーンは、いつ、どのように決められたのか。また、2校で校門前のスクールゾーンが廃止された経緯を伺いたい。

教育長 本市では、昭和47年春の交通安全運動を契機に、順次スクールゾーンが設定されてきた。福生一中正門前のスクールゾーンは、市道の整備により安全が確保されたため廃止されたが、福生一小東側の一小通りは、一部に時間指定で車両が進入できない規制はあるが、スクールゾーンには指定

されていないと警察より指摘があった。今後、地域のご理解をいただきながら指定の要望を警察に行ってきたい。



▲子どもたちの通学風景

栄養教諭の配置による変化は

阿南 育子 議員

質問 各校に食育リーダーを決めて食育を推進していると思うが、今回、栄養教諭の配置があるということで、これまでとどのような変化があるのか。

教育長 栄養教諭については、給食センターでの栄養士としての業務に加え、福生第四小学校に週1日勤務し、学級担任とのチームティーチングによる食育の授業や、児童の給食委員会における指導・支援等に取り組みさせるほか、全小・中学校の

食育リーダーに対し、食育に関する全体計画作成及び授業構築への支援等にも関与させる予定である。



▲地場産野菜を使った食育授業

銀座通りインターロッキング舗装について

武藤 政義 議員

質問 銀座通りがインターロッキング舗装になった経緯、舗装の効果、経費、不具合や補修について伺いたい。

市長 銀座通りの整備は、商業振興策の一環として要望が出されて行ったものである。インターロッキング舗装は、アスファルト舗装にないやわらかさや温かさがあるほか、車両等のスピード抑制の効果もあるが、費用は割高となる。また、碎石の路盤では、交通量が多い場合に沈み込みも発生しており、銀座商栄会の区間については、

碎石路盤の上にアスファルト混合物を舗設するなど、路盤を強固にする必要があるので検討していく。



▲銀座通りのインターロッキング舗装

太陽光エネルギーを市民との協働事業として進めることについて

池田 公三 議員

質問 滋賀県野洲市で、補助金や市予算を要さない、市民募金を資金として運営する太陽光発電システム協働事業が取り組まれている。福生市として導入を検討してはどうか。

市長 福生市は人口減少対策、雇用創出対策としてコミュニティ・ビジネスの普及・育成に取り組んできた。自然エネルギー開発・利用事業は市民、民間事業者とのコミュニティ・ビジネス起業の可能性を秘めた分野と考える。自然エネルギー開

発・利用に関して市民団体等から積極的で責任ある提案があれば、協働の視点で検討させていただきたい。



▲庁舎屋上のソーラーパネル

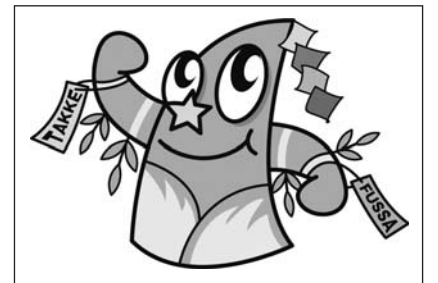
福生市のイメージキャラクター等で広報戦略を

清水 義朋 議員

質問 福生市には、七夕まつりのイメージキャラクター「たっけー☆☆」を初め、幾つかのイメージキャラクターが存在するが、これらのキャラクターを用いて市の内外に情報を発信すればシティセールスにもつながるのではないかと。

市長 指摘のとおりだが、これらはあくまで担当課や各機関のマスコットで、市のキャラクターではない。ただ、「たっけー☆☆」についてはあらゆる場所に積極的に登場し、

認知度も大変高いので、今後は市のイメージキャラクターとして活用する方向で検討したい。



▲七夕まつりイメージキャラクター「たっけー☆☆」

次世代モビリティ活用モデル事業拡充の今後の展開は

五十嵐 みさ 議員

質問 環境対策や交通手段として当事業に関心が高いが、利便性の課題もある。新たな拠点づくりや手続の簡素化をどう進めていくのか。

市長 崖線下地域への新ステーション増設は市単費での対応となる。カーシェアリング、サイクルシェアリングとも土地・設備等の経費負担とともに運営会社との調整が必要になるので、来年度以降の移設や増設は実証実験の結果を踏まえ判断していきたい。手続として、現在の無人

でのシェアリング利用には何らかの個人認証の会員カード等が欠かせないことは理解願いたい。



▲まちなかおもてなしステーション「くろみるふっさ」

発達障害の早期発見と支援体制は

堀 雄一朗 議員

質問 発達障害という言葉は徐々に認知されてきたが、まだ十分に社会的に認知されているとはいえない。当市における発達障害の早期発見と支援体制、今後の取り組みについて伺う。

市長 福生市においては、乳幼児健康診査等で発達障害の可能性のある乳幼児の発見に努め、必要な場合は、専門の医療機関等への案内を実施している。また、関係部署との連携や関係機関との協働により、ライフステージに応じた適切なアセスメントや相談を行

うなど、一人ひとりのニーズに合わせた支援を行なっている。今後は、サービス事業の充実を図っていく。



▲発達障害の早期発見と支援体制

「声の市議会だより」をお届けしています

音訳ボランティア「福生いとでんわ」の皆さんにご協力いただき、市議会だよりの音訳をデージー方式のCDにして、視覚障害者(1・2級)の方にお届けしています。

ご家族やお知り合いの方で、ご希望の方がいらっしゃいましたら、議会事務局にご連絡ください。 議会事務局 ☎042-551-1523

○デージー(DAISY)とは

デジタル録音図書の国際標準で、聴きたいところをすぐに検索できるなど、情報検索性に優れています。

専用の再生機が必要となりますが、利用対象者は日常生活用具として給付を受けられます。(利用者一割負担)

ご利用ください「インターネット議会中継」

議員の一般質問や市長の答弁の様子が見られ、より身近に議会を感じていただけたと思います。

「市民に開かれたわかりやすい議会」を一層推進するため、積極的に議会情報をお届けしていきたいと考えておりますので、ぜひご利用ください。

◆配信内容

本会議のライブ映像と録画映像

※録画映像は、過去の会議を会議名や議員名、用語などで検索してご覧いただくことができます。

◆アクセス方法

福生市公式ホームページ

(<http://www.city.fussa.tokyo.jp/>)にアクセスして「福生市議会」→「インターネット中継」の順にクリックしてください。

緊急雇用創出事業臨時特例基金を使った事業の実施状況は 杉山 行男 議員

質問 重点分野雇用創出事業として24年度末まで実施となった。福生市での取り組み状況を伺いたい。

市長 離職を余儀なくされた非正規労働者や中高年失業者に対し、一時的な雇用機会の創出を目的に21年から3年間の期間で実施してきたが、24年度末まで実施が可能となり、当初予算で9事業、補正予算で5事業を計上した。ふるさと雇用再生特別基金による雇用事業、都独自の補助事業と合わせ、福生市民延べ146人

の新規雇用を生み出したことで、地域雇用の改善や地域経済の活性化等が図れたと思う。



▲福生ドック出陣式

病後児保育の現状と課題、病児保育の考えは 青海 俊伯 議員

質問 福生市の病後児保育の現状と課題を伺う。また、核家族下で共働き家庭を支える病児保育は事業化の試みもあるが、どう考えているか。

市長 病後児保育は平成20年11月から実施し、23年度は登録168人、利用18人、延べ日数59日だったことから、利用者からの意見聴取を行なうとともに、広報等を通じ効果的な情報提供を図りたい。病児保育は現在の市の次世代育成支援行動計画後期計画で平成26年度を目途に実施予

定としている。財政負担等の問題、民間サービスの状況等から総合的に判断し検討していきたい。



▲福生保育園の病後児保育室

カーブミラー設置ができない地点の対策は 奥富 喜一 議員

質問 4月にひき逃げ事件が発生した場所は、カーブミラー設置ができないでいた危険地点だ。今後の対策を伺いたい。

市長 事故は交通量の多い市道、松林通りで起きた。事故後、福生警察署と現地立会いを行ない、表示の薄い道路標示については引き直す等の対策をした。これまでもカーブミラーの設置を検討してきたが難しい状況のため、町内広報掲示板の移設や、道路わきの民地の樹木の伐採を

行なう等について関係者の理解・協力を得て、道路の見通しがよくなるよう改善、確保を図っていきたい。



▲市役所前に設置されているカーブミラー

中学生のAED講習は 原田 剛 議員

質問 都教育委員会作成の安全教育プログラムに基づき実施しているとのことだが、東日本大震災後の取り組み状況、AED講習の検討について伺いたい。

教育長 教育委員会は同プログラムに基づく避難訓練や安全点検・指導等、確実な取り組みを指示している。東日本大震災を受け、内容が修正された副読本「地震と安全」が全児童・生徒に配布された。各学校では地震を想定した避難訓練の回数を増やしたり、防災教育副教材を授業で活用したりしている。中学3年

の保健分野の授業でAEDの取り扱い方を学習するが、同学年を対象に救急救命講習を予定している学校もある。



▲市役所に設置しているAED

次回定例会のお知らせ

平成24年第3回定例会は、9月3日(月)から9月28日(金)までを予定しています。

なお日程及び時間については、議会事務局までお問い合わせください。

- ◆本会議 (予定) 午前10時開会
9月3日(月)～6日(木)、28日(金)
- ◆常任委員会 (予定) 午前10時開会
9月7日(金)、10日(月)、11日(火)
- ◆決算審査特別委員会 (予定) 午前9時開会
9月13日(木)、14日(金)、18日(火)、19日(水)

★市議会を傍聴してみませんか★

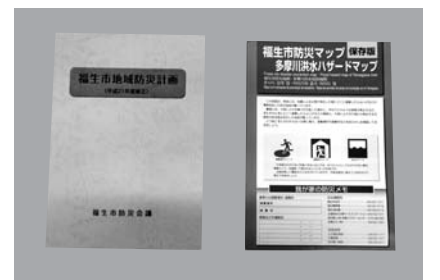
本会議・委員会はどなたでも傍聴できます。傍聴の受付は会議の当日、市役所第2棟3階の議会事務局で行ないます。

福生市地域防災計画の見直しは 大野 悦子 議員

質問 首都直下型地震等による新たな被害想定が示され、東日本大震災での課題も出てきた。地域防災計画の見直しについて今の状況を伺いたい。

市長 災害時の被害を最小にする「減災」を基本とした見直しに着手した。国や都の防災計画等を踏まえ、現行の福生市地域防災計画の課題を整理し、より実効性ある計画を策定していきたい。従来の被害想定等を大きく見直した東京都地域防災計画が年内に策定される予定で、これとの整合性を図

り、福生市地域防災計画の修正を進め、都との協議を経た上で策定する予定である。



▲福生市地域防災計画と福生市防災マップ

第62回 福生七夕まつり

8/2～8/5

「仙台七夕つながる宣言!!」
「エコな七夕NO.1宣言!!」



▲昨年の七夕まつり民踊パレード参加風景



今年も民踊パレードに参加します!

平成24年 第2回
福生市議会定例会

一 般 質 問

通告者名の下欄に質問方式を表示しています。

質問方式は、一括方式、一問一答方式あるいは併用方式(一括と一問一答の併用)の選択制となっています。

(通告順に掲載)

通告者	質問内容	通告者	質問内容
① 串田 金八 (一括)	1 福生市長2期目の意気込みについて (1)市長が認識する課題について (2)7つの目標について 2 福生市消防団について (1)福生市消防団ポンプ操法審査会について (2)消防団員について	⑪ 阿南 育子 (一問一答)	1 職員と市民の関係について (1)窓口や電話などの対応をどのように考えるか (2)協働について 2 全世代に向けた食育について (1)健康増進としての食育の考え方について (2)幼児のいる家庭への食育 (3)幼稚園や保育園での食育 (4)学校教育での食育
② 町田 成司 (一問一答)	1 人口増につながる安全性のPRについて (1)福生市内の地盤、地歴について (2)防災における避難所の地盤について 2 財源確保について (1)新たな財源について	⑫ 池田 公三 (一問一答)	1 市長選挙から見えてきたものについて (1)中学校給食について 2 人口減少対策について (1)市長発言「子育て世代の住環境整備」について (2)住環境整備のほかに、人口減少対策として考えていることは (3)学校給食無料化及び少人数学級も検討課題になるか 3 自然エネルギーの推進について (1)福生市における小水力発電の可能性について (2)太陽光発電について (3)自然エネルギーを市民との協働推進事業として進めることについて
③ 岩崎 百合子 (一括)	1 安全な通学路等について (1)多発している児童、生徒を巻き込んだ交通事故について (2)スクールゾーンなどの交通規制について (3)集団登校について (4)下校時等の安全対策について	⑬ 五十嵐 みさ (一括)	1 次世代モビリティ活用モデル事業の拡充について (1)次世代モビリティ活用モデル事業の現状について (2)今後の展開について 2 孤独死や孤立死等を防止する施策について (1)孤独死や孤立死等を防ぐための現状の取り組みについて (2)見守り活動と個人情報の取り扱いについて (3)今後の取り組みについて 3 認知症ケアと予防について (1)認知症ケアについて (2)認知症予防について
④ 柳川 英司 (一括)	1 介護保険について (1)福生市介護保険事業計画4期12年の変遷と今後の方向性について (2)第5期介護保険事業計画について (3)高齢者生活実態調査について 2 町会・自治会の加入率について (1)下げとまらない加入率について (2)加入率低下に対しての行政の問題意識について	⑭ 青海 俊伯 (併用)	1 介護サポーターポイント制度について (1)制度の概要と具体的取り組みについて 2 子育て支援について (1)保育所の待機児童について (2)病児保育及び病後児保育について 3 学校施設等非構造部材の耐震化について (1)現状把握と今後の具体的計画について 4 中学校給食等について (1)計画に向けての課題について (2)現・給食センターの建てかえ・機能充実について
⑤ 乙津 豊彦 (併用)	1 防災計画について (1)東京都防災会議の報告書について (2)福生市地域防災計画の見直しについて 2 学校における防災計画について (1)防災マニュアル等の現状と防災計画の見直しについて (2)防災計画の市民への積極的な情報提供について	⑮ 原田 剛 (併用)	1 家具転倒防止器具の普及事業について (1)家具転倒防止器具の普及拡大・促進について (2)高齢者家具転倒防止装置設置事業について 2 福生市墓地等の経営の許可等に関する条例について (1)申請予定者と近隣住民等の協議について (2)環境及び景観について 3 防災について (1)学校と地域の連携について (2)中学生の防災教育について (3)中学生の防災ボランティアについて
⑥ 田村 正秋 (一括)	1 環境行政について (1)夏の省エネルギー対策と電力の状況について 2 ごみ対策等について (1)市内公共機関へのごみ箱等の設置について 3 防犯対策について (1)いたずら書きの現状と防止対策について 4 公園の維持管理について 5 福東緑地整備事業について (1)進捗状況について 6 教育行政について	⑯ 大野 悦子 (一括)	1 福生市地域防災計画について (1)見直しについて 2 ことしの敬老事業について (1)ことしの取り組みについて 3 プラムボックスウイルスについて (1)市内の感染状況と対応について
⑦ 大野 聰 (一括)	1 航空自衛隊航空総隊司令部の横田基地への移駐状況等について (1)移駐完了後の部隊の配置状況と市内への住民登録人数等について (2)現在の市内業者の参入状況と現在の発注方法について (3)航空自衛隊の地域交流活動の方針と具体的な計画について 2 スポーツ祭東京2013(国体)について (1)現在までの具体的な準備状況と国体までの今後の予定について (2)市民の多くを巻き込む国体にするための方策について 3 東日本大震災の被災地への支援について (1)被災地への人的、物的、義援金等の支援状況と今後の見通しについて (2)市のイベント(七夕まつり、産業祭)における被災地の物販等の協力について	⑰ 杉山 行男 (併用)	1 雇用対策と地域の活性化について (1)ふるさと雇用再生特別基金を使った雇用事業の実施状況について (2)緊急雇用創出事業臨時特例基金を使った雇用事業の実施状況について (3)市内の雇用対策について
⑧ 武藤 政義 (一括)	1 道路行政について (1)アスファルト舗装の厚みについて (2)銀座通りインターロッキングについて (3)市道第1105号線の側溝について 2 福生市観光案内所「くるみる ふっさ」について (1)福生市観光案内所「くるみる ふっさ」の現状について (2)今後の観光事業への取り組みについて	⑱ 奥富 喜一 (一問一答)	1 米軍横田基地について (1)航空総隊司令部移駐関連工事等について (2)事件・事故等3月議会以降での情報はるか (3)日米安保条約をなくしたらどうできるかについて 2 国民健康保険税と介護保険料を軽減することについて 3 福祉バス増便で30分以内の循環とすることについて 4 市民だれもが乗れるコミュニティバスについて 5 自転車事故防止対策について (1)「やなぎ通りにガードレール標識看板を」について (2)生活道路でのひき逃げ事件について
⑨ 清水 義朋 (一括)	1 市役所の防災対策について (1)BCP(事業継続計画)の現状について (2)BCPの検証・訓練について 2 シティセールスについて (1)地域ポータルサイトの現状について (2)福生市のイメージキャラクター等の広報戦略について		
⑩ 堀 雄一郎 (併用)	1 まちなかおもてなしステーションについて (1)市の魅力を発見し発信する事業について (2)地域ブランドの発信に役立つ商品や人物紹介について 2 発達障害と特別支援教育について (1)発達障害の早期発見と支援体制について (2)発達障害児のデイサービスについて (3)特別支援教育のこれまでと今後について 3 不登校への取り組みと成果について 4 学校通学路の安全確保について		

委員会の審査から

建設環境委員会

6月12日に委員会が開催され、開会後、現在工事中の牛浜駅自由通路及び田園通りを委員全員で視察し、進捗状況を確認しました。その後、議案1件を審査し、原案のとおり可決しました。

◎平成24年度福生市一般会計補正予算(第1号)(歳出予算のうち建設環境委員会所管分)

問 イメージキャラクター「たっけー☆☆」は、商標登録されているのか、また、七夕もしくは福生市、どちらのキャラクターなのか、そして、認知度を高める方策は。

答 まだ商標登録をしていないが、今後、考えていきたい。また、現在は

今定例会の常任委員会(建設環境・市民厚生・総務文教委員会)では、本会議から付託された議案及び陳情と継続審査となっていた陳情の審査が6月12日、13日、14日、22日の4日間行われました。

また、議会運営委員会では、本会議の議事日程や議案の取り扱い、議会だよりの編集等の協議が行われました。

それから、横田基地対策特別委員会、災害に強いまちづくり特別委員会が6月15日に開催されました。

ここでは、各常任委員会及び各特別委員会から報告された主な審査概要をまとめました。

七夕のキャラクターだが、福生市のキャラクターとしていきたい。認知度については、市外のイベントへの積極的な参加やソーシャルメディアの活用により全国に向けて発信していきたい。



▲工事中の牛浜駅自由通路を視察

問 空家実態調査の内容及び調査における個人情報保護は。

答 市内全域のマンション、賃貸住宅、戸建ての全ての空家を対象とし、9月頃から不動産管理事

業者及び町会等から情報収集、10月頃に現地調査、12月頃にアンケート調査、2月頃に報告書をまとめた。また、個人情報については、個人情報保護審議会に諮りながら、保護に万全を期したい。

市民厚生委員会

6月13日と22日に委員会が開催され、議案3件と陳情3件を審査しました。主な内容は次のとおりです。

◎福生市印鑑条例の一部を改正する条例

問 印鑑登録できない印鑑とはどのようなものか、イニシャルだけで登録することは可能か。

答 本名と通称を組み合わせた場合やイニシャルだけの登録はできない。

問 登録時の本人確認はどのようなものか、コンピューター識別機能を活用する予定はあるか、住民基本台帳の表示は、日本人と外国人は区分されるのか。

答 運転免許証、パスポートなど、顔写真貼付の書類1点、または健康保険証、キャッシュカード、診察券などは2点提示いただき本人確認を行なう。コンピューター識別機能活用は予定はない。世帯は、日本人のみ、外国人のみ、日本人と外国人の混合世帯、人口は、日本人男女、外国人男女で区分する。



▲改正住基法がスタート

問 必要な規定の整備とはどういう意味か、国による統一の規則はないのか、現在外国人の印鑑登録者数は何人なのか。

答 氏名以外の通称を住民票へ記載する等が規定された。印鑑登録制度を規定した法律はなく、総務省通知に基づいて条例をつくり、事務を行ってある。外国人の仮住民票基準日現在の印鑑登録者

数は710人である。

問 施行日に住民基本台帳法第30条の45の表の上欄に当てはまらなくなることで、職権で削除される数はどのくらいか、その他にも削除される理由はあるか。

答 仮住民票基準日現在では710人中18人である。短期滞在者、不法滞在者の登録は削除される。

◎福生市敬老金条例の一部を改正する条例

問 外国人の敬老金対象人数は。

答 平成23年度、平成24年度共に8人である。

◎福生市国民健康保険条例の一部を改正する条例

問 東日本大震災被災者で市の国保に加入している世帯と人数は、また被災者へはどのような支援があるのか、負担は市でしているのか。

答 24年4月1日現在で7世帯16人の方が加入。被災者に国民健康保険税の減免や一部負担の免除を行っている。7世帯から減免申請があり、減免額は8万9600円。一部負担金の免除申請は、延べ14人合計で79万3727円となっている。この免除等はほぼ全額国から市に交付される予定。

◎福生市手数料条例の一部を改正する条例

問 今回の条例改正で外国人登録の証明がなくなると、外国人も身分証明は住基カードになると思いますが、7月9日から住基カードを身分証明のかわりにすぐもらえるのか。

答 外国人住民も7月9日以降は住民基本台帳法が適用され、住民票が証明となる。住基カードは法施行から更に1年後の適用となる。住基カード

が適用され、住民票が証明となる。住基カードは法施行から更に1年後の適用となる。住基カード

1件は引き続き審査していくこととなりました。

総務文教委員会

6月14日に委員会が開催され、付託された議案4件と陳情1件を審査しました。

◎福生市税賦課徴収条例の一部を改正する条例

問 第35条の2の寡婦控除についての周知方法及び対象人数は。

答 今回の改正に関する年金受給者への周知方法等については、日本年金機構から具体的に示されていない。具体的に示された段階で、市の広報等により周知を図っていきたい。対象人数については、23年度の年金受給者は3186人、このうち寡婦控除を受けている方は426人。

◎平成24年度福生市一般会計補正予算(第1号)

(歳入予算全般及び歳出予算のうち総務文教委員会所管分)

問 緊急雇用創出事業臨時特例補助金はどういう手続きで6月の定例会に上程をしたのか。

答 緊急雇用創出事業は、平成23年度までの事業だったが、平成24年度も実施されることとなり、国が補正予算を組み、都に交付された。当初予算では9事業を計上したが、平成24年1月に都から、追加申請を受ける旨の連絡があり、実施事業の検討にはいった。都にヒアリングシートを提出し、庁内では意思決定のため実施計画を作成し、策定委員会各事業について審査を行ない、提案された5事業全てが採択となった。

問 今回の条例改正で外国人登録の証明がなくなると、外国人も身分証明は住基カードになると思いますが、7月9日から住基カードを身分証明のかわりにすぐもらえるのか。

答 外国人住民も7月9日以降は住民基本台帳法が適用され、住民票が証明となる。住基カードは法施行から更に1年後の適用となる。住基カード

◎立川第2排水区雨水幹線整備工事請負契約

問 落札の予定価格との開きが約1億7000万円あるが、どのような関係でそうなったのか。

答 事業者に聞き取り調査したところ、機械器具損料は、協力が社が掘進機を自社保有のため最少の経費で積算できた。また、コンクリート管、薬剤の調達費等も、資材調達先等との長年の取引があり見積もりをとった金額なので間違いなく積算している。



▲ICタグの貼付が予定されている中央図書館のCD

議会運営委員会

定例会の会期や本会議の議事日程、一般質問、議案、市民等から提出された陳情の取り扱い等の協議及び議会だよりの編集を行う議会運営委員会が閉会中も含め9回開催されました。



福生市議会も応援しています! スポーツ祭東京2013 第68回国民体育大会



市民と共に国体PR活動に取り組んでいます。

平成25年に開催される国民体育大会(国体)のPRをするため、多摩工業高校及び福生高校の生徒が活躍しています。

国体カウントダウンボードを制作

都立多摩工業高校の電子工作部の生徒が、国体開催までの残り日数を知らせる「カウントダウンボード(残暦板)」を制作しました。電光掲示板にはLEDを使用し、全て手作り、約3カ月かけて完成させました。

材料は、西武信用金庫様に提供していただきました。
現在、市役所1階ロビーに設置しております。ぜひ、ご覧ください。



ゆりーとダンスを披露

都立福生高校のダンス部の生徒が、西武ドームで行われた埼玉県&西武沿線感謝デーに出演し、ゆりーとダンスを踊って国体及び今年開催のリハーサル大会をPRしました。マスコットキャラクター「ゆりーと」と一緒にゆりーとダンスを踊ったのは2年生で、引退した3年生も応援に駆け付け、ダンスを披露しました。



国体PRサポーターに登録して国体を応援しよう!

国体PRのために、何かしたい。そんな方に朗報です。
国体PRグッズ(ミニのぼり・ステッカー・ポスター)を家、店舗、事務所等に掲出するだけで、あなたも国体PRサポーターです。(簡単な登録が必要です。登録いただいた方に、国体PRグッズを配布いたします。)
みんなで国体を盛り上げましょう!

第64回全日本総合女子ソフトボール選手権大会(国体リハーサル大会)を開催!

【会期】平成24年9月21日(金)～9月23日(日) ※予備日24日(月)
【会場】福生野球場

問合せ 国体推進室 ☎042-551-1750

議会の動き

【第3次議会改革検討協議会の活動報告】

今定例会では、第3次議会改革検討協議会が2回開催され、「政務調査費の使途基準の見直しについて」、全国の判例・裁判例を当てはめて、表を作成しました。今後は、申し合わせ事項だけでなく、当市議会の事例に即して、具体的に判例・裁判例をもとに、より詳細な基準を設けていくことになりました。

また、質疑・答弁の時間等について、本年3月の予算審査特別委員会での各委員の発言時間の統計表が提出され、その後の協議会で質疑・答弁の時間等の案が提出され、活発な議論がされました。

その中で、9月定例会から、資料の読み込みの時間を設けるため、決算審査特別委員会の開催を常任委員会のあとに開催することなどを、議会運営委員会に報告することになりました。

【議員研修会(講師・大塚康男氏)】

平成24年6月28日に、現在、市町村アカデミー客員教授であります大塚康男氏を迎え「市議会議員の危機管理」と題して講演が行なわれました。

大塚康男氏は、元市川市の職員で、総務部の法制関係で多くの訴訟関係に携わり、その後議会事務局長など歴任したことから、特に議会の訴訟関係に詳しく、今回政務調査費、議員の発言、兼業禁止など、全国の判例・裁判例に基づいて詳しい事例による講義を受けました。また、講演後、議員から活発な質問がされました。

当市議会で政務調査費の使途基準を検討する上で、大変有意義な研修会となりました。



特別委員会活動がら...

災害に強いまちづくり 特別委員会

6月15日に災害に強いまちづくり特別委員会が開催されました。

4月18日に都が新たに示した「首都直下地震等による東京の被害想定」について、理事者からの報告の後、質疑を行いました。

委員からは、市防災会議委員への周知について、市民への情報提供について、専門委員選任は考えているか、震度7という新たな想定の下、市での被害イメージについて、などの質問があり、理事者からは、今後、具体的に検討し、市としての対策を考えていくと回答がありました。

また、委員長、副委員長から、前回までの協議を元に、市への提言(案)が示され、それも含めて協議しました。

内容は、自主防災組織の充実を図り実効性のあつものにしていく、自助共助の防災計画のハンドブックづくりが必要、自主防災組織の活動マニュアル作成を検討する必要について、市内事業所における自助、共助の取り組みの重要性について

○黄色いハンカチ大作戦の展開、ゴミカレンダーにポケットを作り、防災ハンドブックを収納する、転入者に対し、町会自治会のほかに、自主防災組織についても周知できないか、自主防災組織の条例化について、などです。

次回7月の委員会において、これまでの協議内容を踏まえ市への提言(案)を検討していくことになりました。

なお、7月3日、4日、神戸市の「人と防災未来センター」及び、豊橋市の「防災コミュニティの推進で地域の絆づくり」を行政視察した結果も参考に、検討していきます。

横田基地対策 特別委員会

6月15日に開催し、議題5件を審議しました。

一、平成23年度防衛補助事業実施状況について
「市道幹線Ⅱ-18号線外1改良事業」他第8条事業3件、第9条事業「牛浜駅自由通路整備事業」1件、計5件の事業概要、補助額等について説明がありました。

二、平成25年度防衛補助事業概要要望について
第8条事業「市道幹線Ⅱ-19号線外1改良事業」他2件の事業内容について説明がありました。

三、横田基地周辺対策等要望事項(案)について
防衛省への要望事項案、横田基地に関する在日米軍の再編にかかる対応について、②平成25年度防衛補助事業の要望について、③横田基地周辺対策及び基地交付金、調整交付金予算等の充実について、④横田基地の運用に伴う安全確保の徹底、⑤米空母艦載機による着陸訓練の全面中止について、⑥騒音防止対策の推進について、⑦在日米軍の事件・事故に関する的確な情報提供について、⑧基地の外における軍人等の法遵守、マナーの向上について、8件24項目を審議するとともに、オスプレイの配置問題について質疑がありました。

その他、7月19日に行なう防衛省並びに北関東防衛局への要請行動についても協議し、決定しました。



▲防衛省本省へ要請行動(24.7.19)

3月26日の移駐完了以降の状況について説明がありました。

五、横田基地に関する事件・事故等について
①運用即応演習について、②緊急管理演習について、③サムライサージ訓練及び空中投下訓練について、④手榴弾の発見及び処理について、⑤都と周辺市町連絡協議会による米兵等による傷害事件の再発防止要請についての説明を受け、今回の空中投下訓練について、訓練内容の質疑がありました。

次に、前回に続いて、発災後3日目までの取り組みで、自助、共助を中心に自主防災組織等につ

編集後記

第2回市議会定例会が6月22日に閉会となりました。今定例会では議案の訂正が行われました。議会に上程された議案を訂正するには複雑な手続きが必要となります。副市長人事案件が会期中に提案されたこともあり、通常6回ほど開催される議会運営委員会が9回も開催されました。今後議案の訂正などがないようお願いいたします。◆最終日に行われた全員協議会で、西多摩衛生組合議員から宮城県女川町の災害廃棄物の搬入状況、空間放射線量の測定結果について説明がありました。10日間で78トンほどの廃棄物が搬入され、通常のごみと混ぜて焼却していますが、焼却炉に問題がないこと、空間放射線量に変化がないことが報告されました。◆市役所では5月15日から10月いっぱい「ノーネクタイ・ノー上着」で勤務しています。議会もクールビズで臨んでいますのでご理解をお願いします。◆会期中はた祭りが開催され、不安定な天候のなか3万5千人の来場者がありました。7月には夏祭り、8月には七夕まつりが予定されています。皆さんも夏を楽しんでください。